

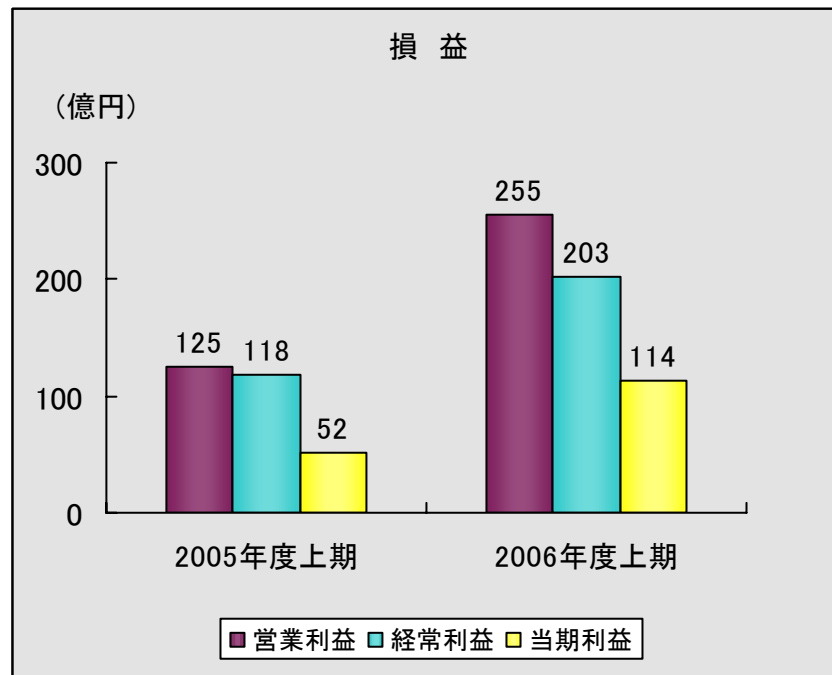
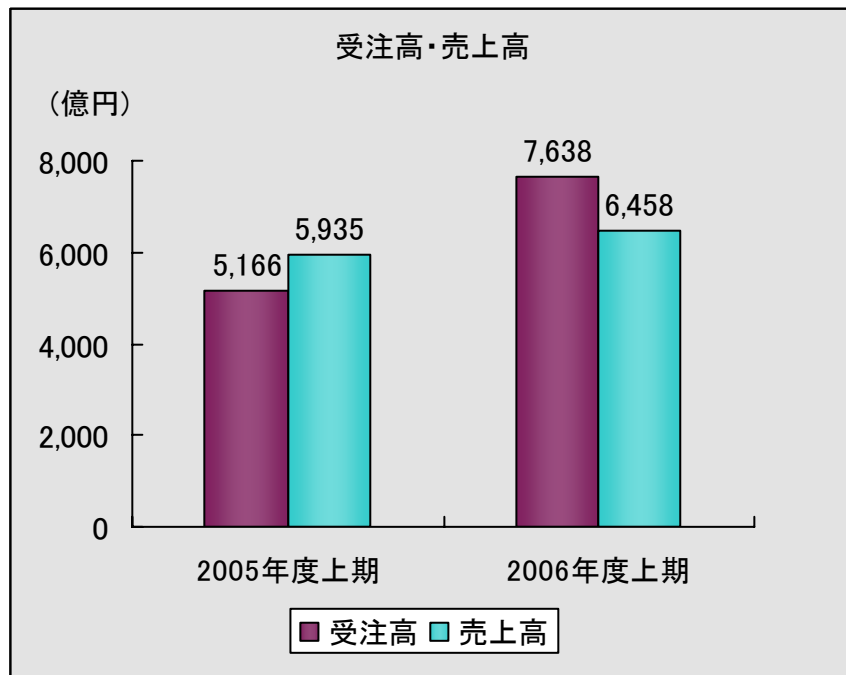
2007年3月期中間決算説明会資料

2006年10月31日

川崎重工業株式会社



2007年3月期 連結中間決算の概要



売上加重平均レート

	2005年度上期	2006年度上期
ドル(¥/\$)	108	115
ユーロ(¥/EUR)	136	146

(億円)

	2005年度上期	2006年度上期	増減
営業利益	125	255	+129
経常利益	118	203	+84
当期利益	52	114	+61

対前年同期比損益増減要因分析

◇営業損益の増減要因(+129億円)

為替による影響	+82億円
増収効果	+56億円
素材価格上昇による影響	▲44億円
コストダウン・固定費低減他	+35億円

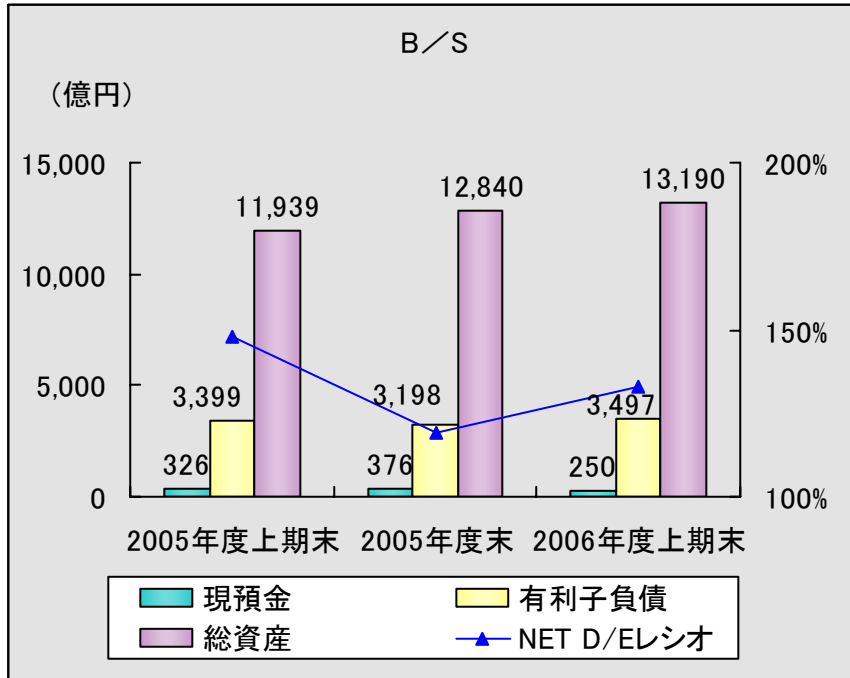
◇営業外損益の増減要因(▲45億円)

金融収支	▲ 3億円
有価証券売却益	▲30億円
為替差損(前上期28億円→当上期37億円)	▲ 8億円
その他	▲ 4億円

◇特別損益の増減要因(+35億円)

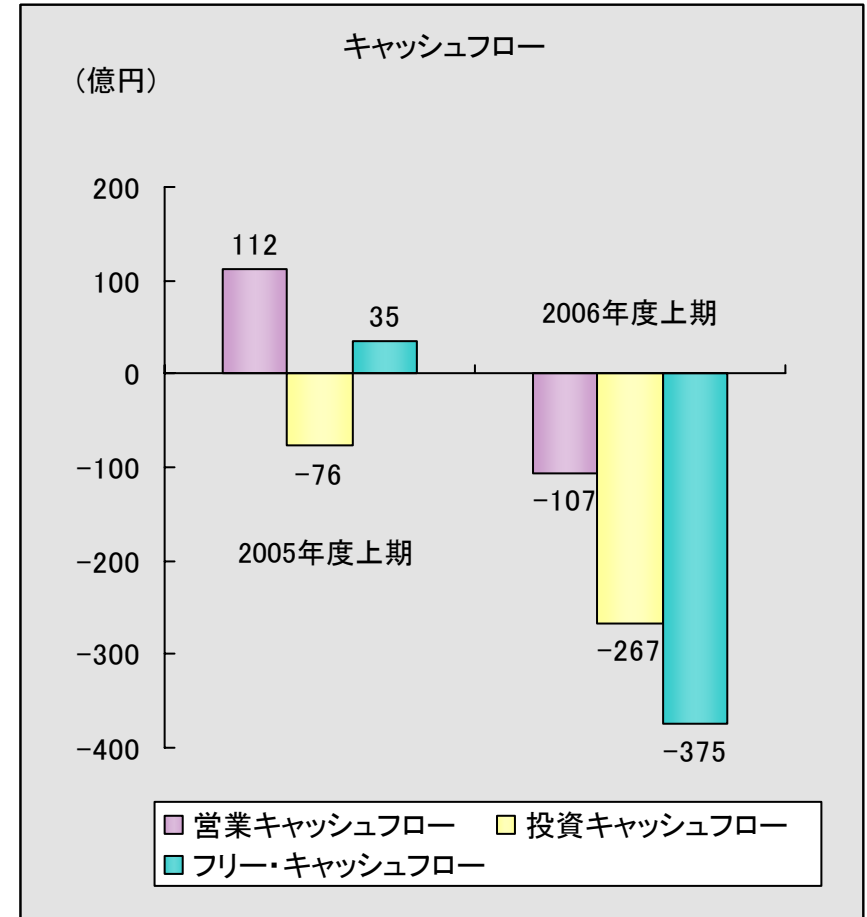
固定資産減損損失(前上期30億円→当上期ゼロ)	+30億円
その他	+ 5億円

有利子負債およびキャッシュフロー



(億円)

	2005/上期末	2005年度末	2006/上期末
NET有利子負債	3,072	2,821	3,247
自己資本	2,074	2,375	2,390
NET D/ELシオ	148%	119%	135%



船舶

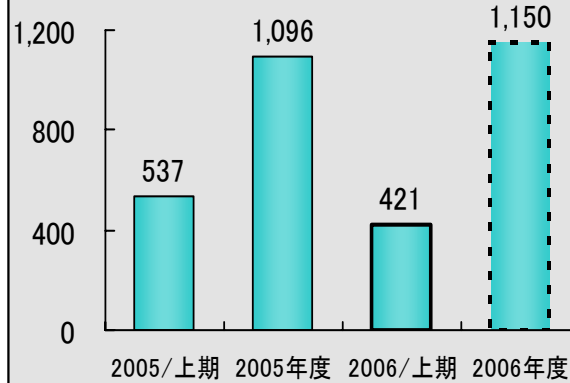
受注高

(億円)



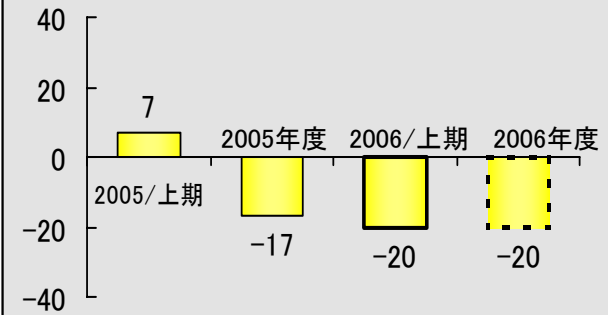
売上高

(億円)



営業利益

(億円)



2005年度上期

LNG船	1隻
小型LNG船	1隻
LPG船	1隻

⇒

2006年度上期

LNG船	1隻
LPG船	2隻
バルクキャリア	7隻

2005年度上期

LNG船	3(3)隻
VLCC	1隻
バルクキャリア	3隻
潜水艦	2(2)隻

⇒

2006年度上期

LNG船	4(2)隻
VLCC	1隻
バルクキャリア	3隻
潜水艦	1(1)隻

注) 括弧内は進行基準売上(内数)

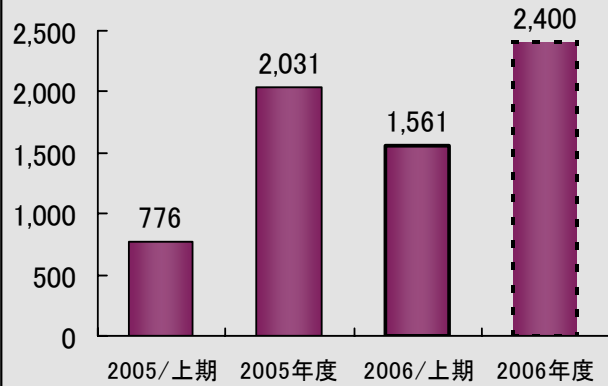
【2006年度上期業績(対前年同期比)】

- * LNG船、バルクキャリアなど計10隻の大量受注
- * 売上減および鋼材価格の上昇等の影響による収益悪化

車 両

受注高

(億円)

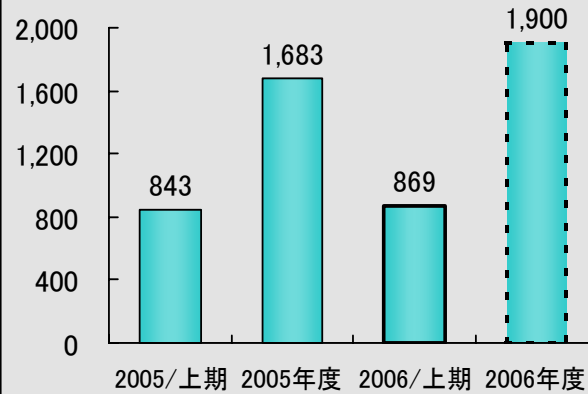


【2006年度上期受注実績(対前年同期比)】

- * 海外大型案件による大幅受注増
- ・ニューヨーク州交通局外ロノス鉄道向け通勤電車 (300両/約7億US\$)

売上高

(億円)

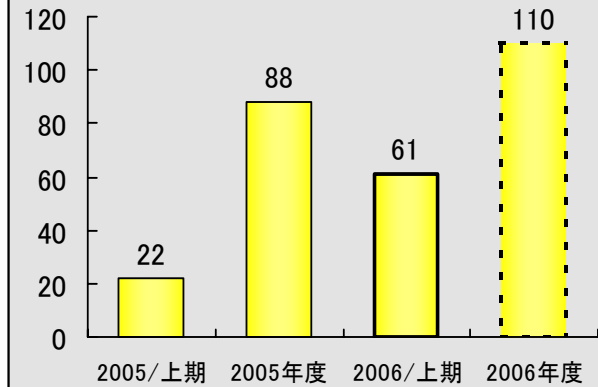


【2006年度上期売上実績(対前年同期比)】

- * 海外車両案件の高水準な売上持続

営業利益

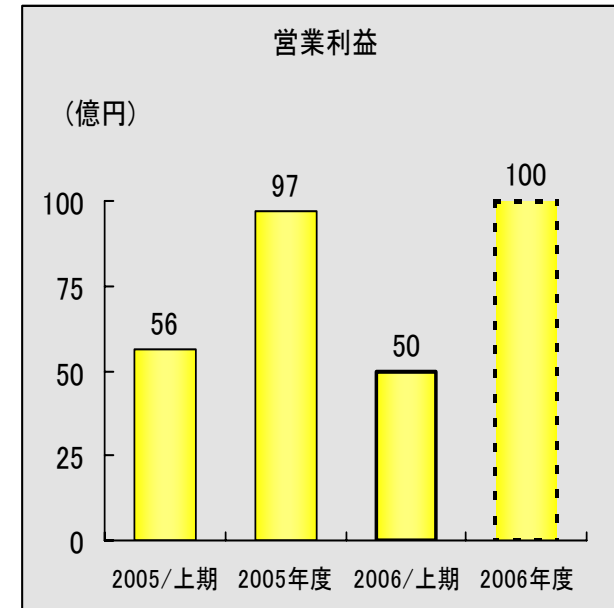
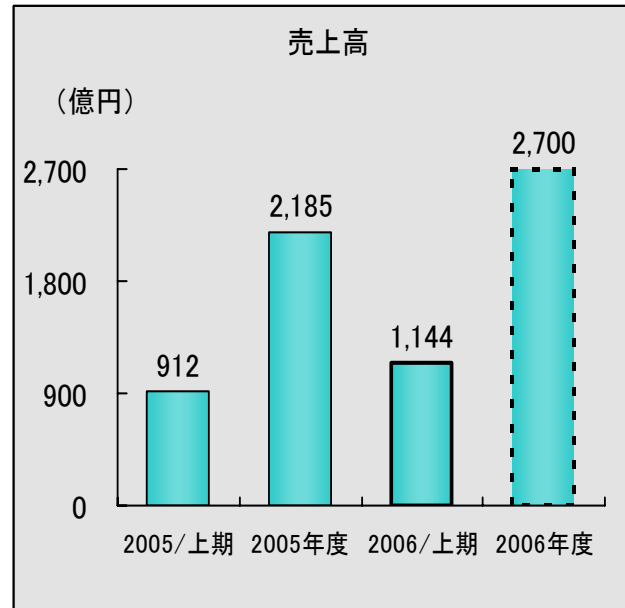
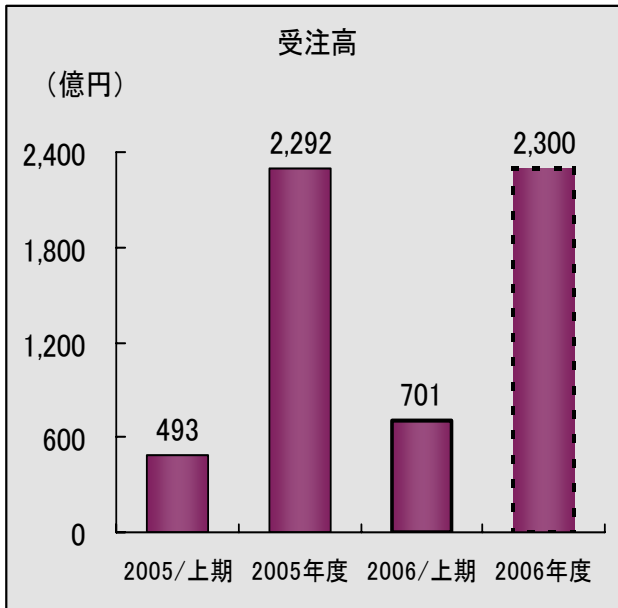
(億円)



【2006年度上期損益実績(対前年同期比)】

- * 海外車両案件の収益性上昇による利益増

航空宇宙



<民需分担生産品の売上機数>

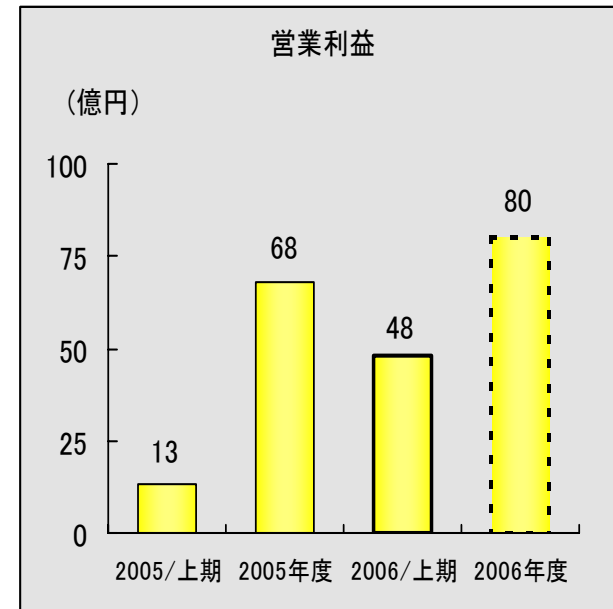
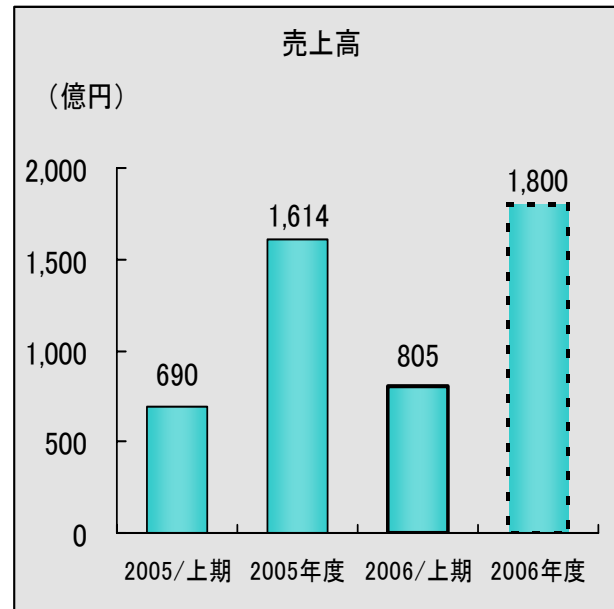
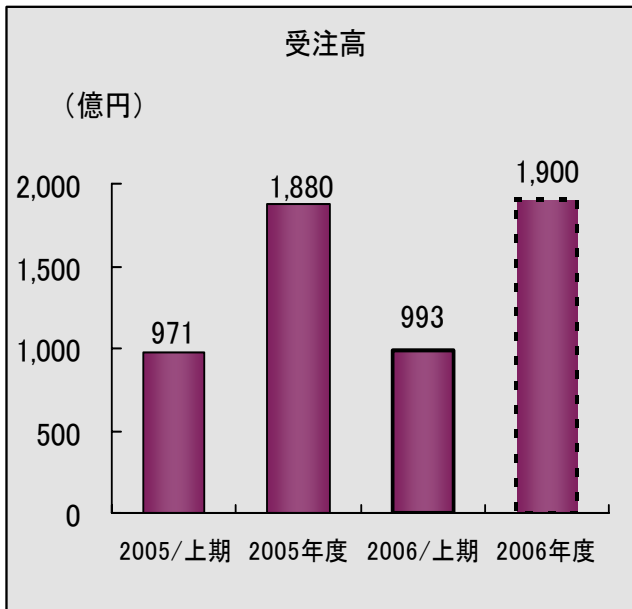
(機)

	売上			
	2005年度		2006年度	
	上期	通期	上期	通期(見通し)
B777	25	49	33	73
B767	7	11	7	13
Embraer170/175	20	39	13	35
Embraer190/195	14	37	35	92

【2006年度上期業績(対前年同期比)】

- * BOEING社向け等受注好調
- * 防需大型機(P-X,C-X)開発およびBOEING社向け売上増
- * 資材価格の上昇、外注コスト増の影響等による利益減

ガスタービン・機械



【2006年度上期受注実績(対前年同期比)】

* 産業用ガスタービン等の受注増

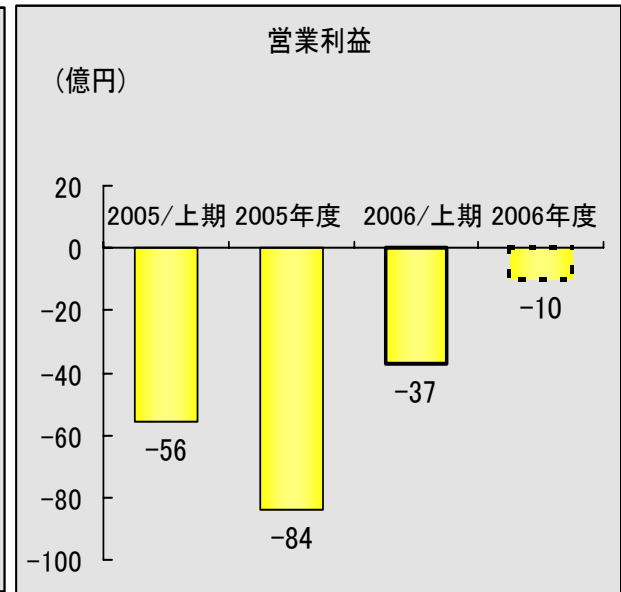
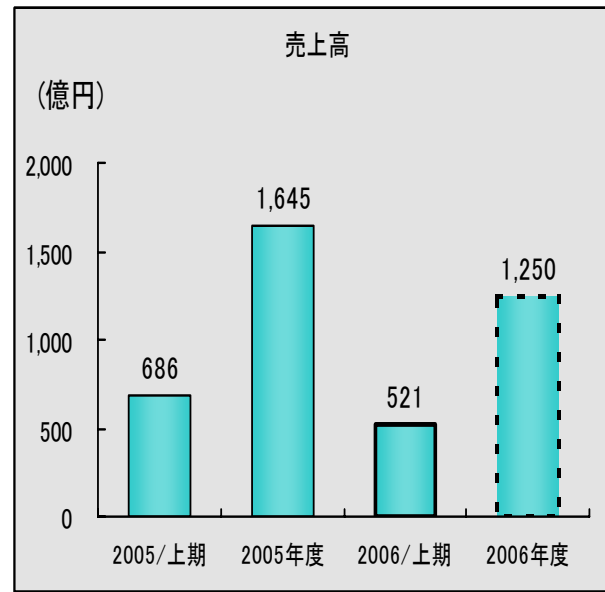
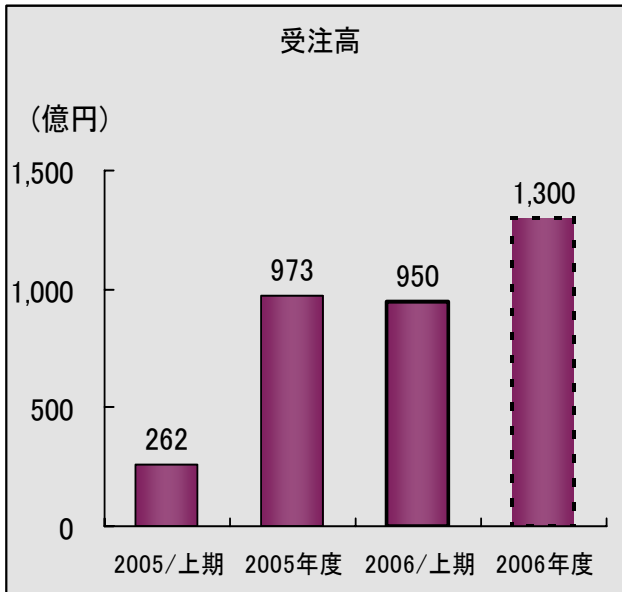
【2006年度上期売上実績(対前年同期比)】

* 民間航空機用エンジン、産業用ガスタービン等の売上増

【2006年度上期損益実績(対前年同期比)】

* 民間航空機用エンジン等の増収による利益増

プラント・環境・鉄構



【2006年度上期受注実績(対前年同期比)】

* 海外大型案件による大幅受注増

[大口受注案件]

- ・韓国/フェロニッケル精錬プラント
- ・パキスタン/尿素プラント
- ・ベトナム/セメントプラント

【2006年度上期売上実績(対前年同期比)】

* 海外プラント案件の売上減

[大口売上案件]

2006年度上期

- ・東京都/世田谷清掃工場建設工事
- ・岸和田市貝塚市向け都市ごみ焼却プラント

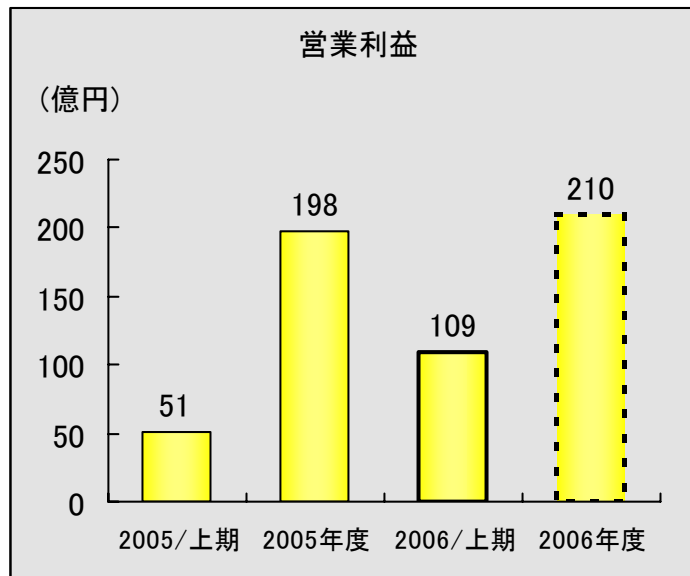
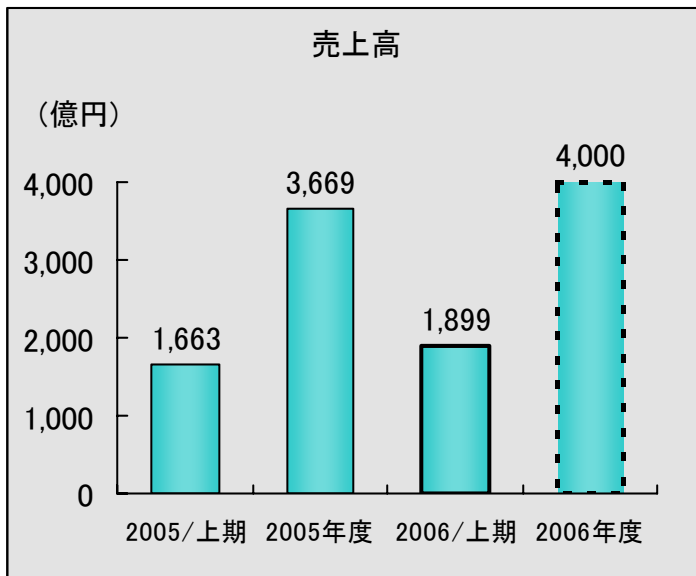
2005年度上期

- ・フィリピン/ミンダナオ石炭火力発電所
- ・イラン/アンモニア・肥料プラント

【2006年度上期損益実績(対前年同期比)】

* プラント部門の黒字転換および環境部門の収益悪化

汎用機



<コンシューマー向け製品 地域別売上台数・金額 >

(単位 台数:千台/金額:億円)

仕向地	2005年度				2006年度			
	上期		通期		上期		通期(見通し)	
	台数	金額	台数	金額	台数	金額	台数	金額
国内	17	105	26	171	13	91	23	161
北米	109 (47)	685	240 (120)	1,595	123 (61)	852	278 (160)	1,881
欧州	38	309	88	680	52	427	97	741
その他	83	156	174	334	58	152	145	331
合計	247	1,256	528	2,780	246	1,522	543	3,114

【2006年度上期業績(対前年同期比)】

- * 米国・欧州向け二輪車および産業用ロボットの売上増
- * 増収効果などによる利益増

注1) 二輪車、四輪バギー車(ATV)、多用途四輪車、パーソナルウォータークラフト(「ジェットスキー」)およびこれらの関連製品を含む。

注2) 国内にはOEM供給による販売を含む。

注3) 括弧内は二輪車分を示す。(内数)

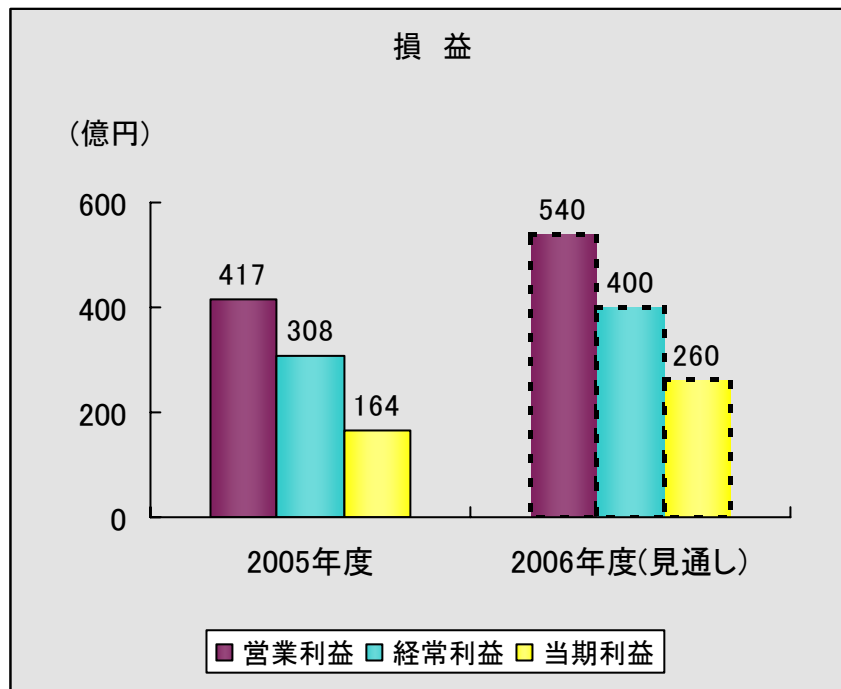
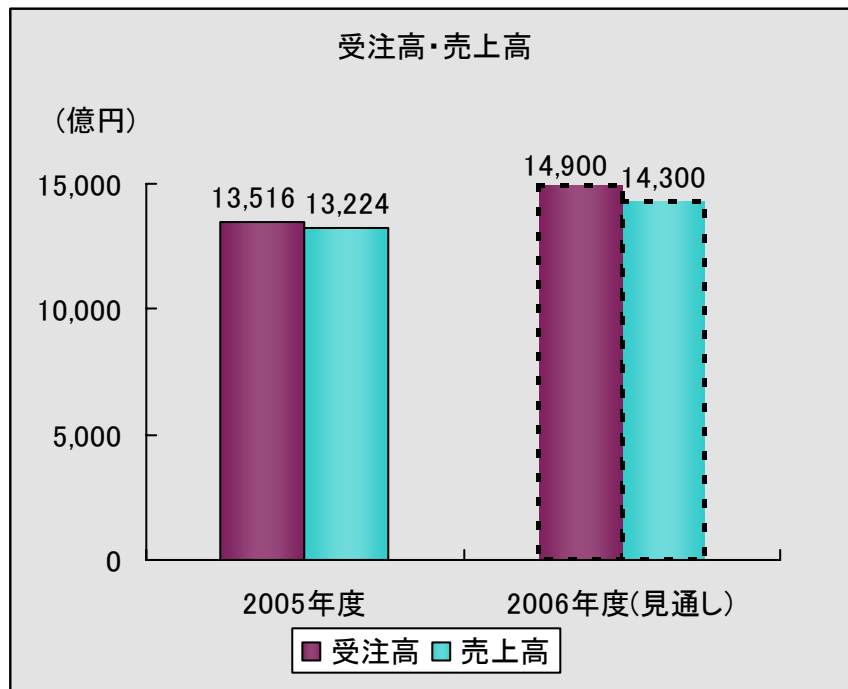
研究開発費・設備投資・期末従業員数

(億円・人)

	2005年度 上期 (実績)	2005年度 通期 (実績)	2006年度 上期 (実績)	2006年度 通期 (見通し)
研究開発費 _{注)}	109	282	143	340
設備投資	178	417	174	430
減価償却費	143	305	148	310
国内	22,963	22,663	23,090	22,800
海外	6,061	6,259	6,371	6,600
期末従業員数	29,024	28,922	29,461	29,400

注) 汎用機事業の改良研究費を含む。

2006年度業績見通し



	2005年度 売上加重 平均レート	2006年度前提レート	
		4月公表	今回公表
ドル(¥/\$)	112	110	110
ユーロ(¥/EUR)	139	130	130

注) 前提レートは見通し公表時点の為替のエクスポージャーに対して適用。

(億円)

	2005年度 実績	2006年度見通し	
		4月公表	今回公表
営業利益	417	540	540
経常利益	308	400	400
当期利益	164	260	260

2006年度セグメント別業績見通し

(億円)

	2005年度実績		2006年度見通し			
	売上高	営業利益	4月公表		今回公表	
			売上高	営業利益	売上高	営業利益
船 舶	1,096	▲17	1,150	▲20	1,150	▲20
車 両	1,683	88	1,750	100	1,900	110
航空宇宙	2,185	97	2,700	100	2,700	100
ガスタービン・機械	1,614	68	1,750	75	1,800	80
プラント・環境・鉄構	1,645	▲84	1,250	10	1,250	▲10
汎 用 機	3,669	198	3,900	210	4,000	210
そ の 他	1,330	67	1,400	65	1,500	70
合 計	13,224	417	13,900	540	14,300	540

ド ル(¥/\$)	112	110	110
ユーロ(¥/EUR)	139	130	130

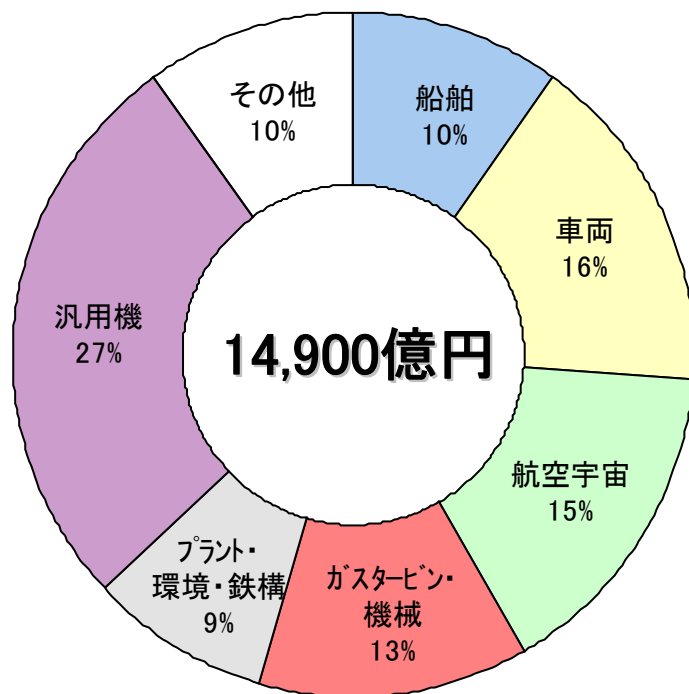
2006年度セグメント別受注高の見通し

(億円)

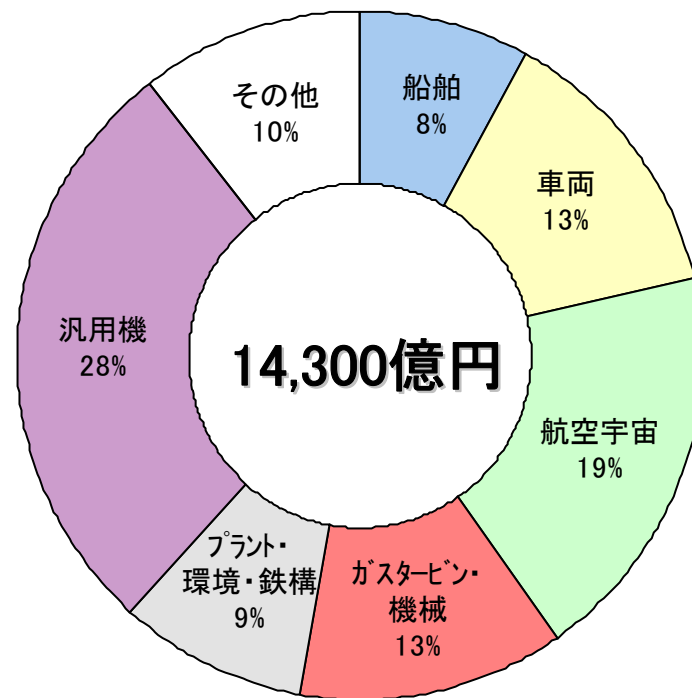
	2005年度実績	2006年度見通し	
		4月公表	今回公表
船 舶	1,283	1,200	1,500
車 両	2,031	1,800	2,400
航空宇宙	2,292	2,300	2,300
ガスタービン・機械	1,880	1,900	1,900
プラント・環境・鉄構	973	1,000	1,300
汎 用 機	3,669	3,900	4,000
そ の 他	1,385	1,400	1,500
合 計	13,516	13,500	14,900

連結セグメント別の状況(2006年度見通し)

受注高



売上高



Kawasaki, let the good times roll !

ご注意

本資料のうち、業績見通し等に記載されている将来の数値は、現時点で把握可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、これらの業績見通しのみを依拠して投資判断を下すことはお控え下さるようお願い致します。実際の業績は、外部環境及び内部環境の変化によるさまざまな重要な要素により、これらの見通しとは大きく異なる結果となり得ることを御承知おき下さい。実際の業績に影響を与える重要な要素には、当社の事業領域をとりまく経済情勢、対米ドルをはじめとする円の為替レート、税制や諸制度などがあります。